



平成22年度 第17回 市民環境活動報告会 開催のお知らせ

第17回市民環境活動報告会実行委員会 実行委員長 内藤 克利

第17回市民環境活動報告会を、2011年3月5日(土)、横浜駅西口近くのかながわ県民センターで開催いたします。

この報告会は、神奈川県環境科学センターで開催された環境学習リーダー養成講座修了者が、各分野で活動した結果を報告し、且つお互いの研鑽に役立つようにと、同センターが企画して始まったものです。毎年春に開催し、環境保全の輪を広げるとともに、旧交を暖める絶好の場ともなっています。

今年で17年目を迎えるこの報告会ですが、17年も続いて来たのは、県環境科学センター職員の熱意とともに、環境学習リーダー養成講座修了者達の熱意によるが多かったと記憶しております。

今回は、「私たちの山、川、海、空とくらし」という私たちの身近な自然と暮らしをテーマにして、参加者との意見交換を通じて環境活動の輪を広げてい

私たちの山、川、海、空
とくらし」テーマに

きたいと思います。

昨年2月27日に開催した第16回市民環境活動報告会は、県環境科学センター主導で開催されましたが、今回からは市民グループ主導の開催となります。運営には、当会が中心になって行います。開催経費等、自己調達をしながらの開催ではありますが、当会から実行委員として4名の方々が参加し、開催に向けて頑張っています。当会会員・OB等から発表者として参加されるのは6名の予定です。(詳細は近く発行されるチラシをご覧ください。)

当会会員及びOBの皆様をはじめとして、多くの環境活動にかかわる市民の皆様もお誘い合わせの上、ぜひ、この報告会に参加していただき、お互いに環境活動を学びあうよき場となることを期待しています。当会OBの皆様におかれましても、旧交を温め、楽しい時間を作ってくださいよう、よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

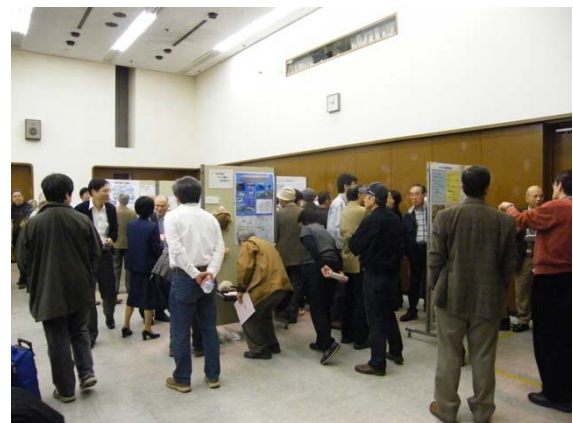
記

第17回市民環境活動報告会

開催日時：平成23年3月5日(土) 12時~17時(予定)

開催場所：かながわ県民センター2階ホール(横浜駅西口)

主催：第17回市民環境活動報告会実行委員会



昨年の市民環境活動報告会の様子

気づきの学習のなかの涼風

水環境部会 齋藤 昭一

神奈川県工科大学工学部、応用化学科学生たちとの「水質判定の基準を知る」として水生生物を中心とした学習を、相模川座架依橋下の河川敷において実施したときの話である。

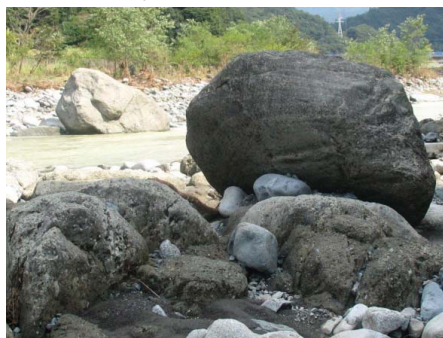
この日は梅雨時で朝から小雨の降る中での実習となった。学生たちは大学から学園バス、私は資材搬送の車両を運転しながらの移動となった。第一地点の調査を終わり、第二地点に移動するときのことであった。雨が急に大粒となって降り注いできた。それを避けるために橋げたの下に移動しようとした時のことである。晴れていればそんな誤りをしないのに、濡れた路面は方向を誤らせて、ぬかるみの中に車輪を落としてしまったのである。

すぐに近くにいた男子学生が6人駆けつけてくれた。しかしエンジンを蒸かすほどに車輪はめり込んでいった。近くの人も毛布や厚い板を集めてきてくれて脱出に協力してくれた。とうとう車輪から濛々と黒煙が出始めたので中断した。(タイヤ4本全部交換したことで悲慘さが分かる。)
「これはだめだ。

レッカーをお願いしよう!」と思ったときに黄色い声をかけながら女子学生の一団が来てくれたのである。

「窓全部明けて皆でもう一度頑張ろう」と降り注ぐ雨にも負けず全員、傘を置いて脱出に挑戦してくれたのである。美しい女子学生の顔に雨が光る。男子学生も渾身の力を出す。一瞬のうちに脱出に成功した。「ありがとう!」の想いがこみ上げてくる。それと同時に「何と素晴らしい学生たちであろう」。大感動が私の胸中に渦巻いて目頭が熱くなった。

大学に戻り、一人ひとりに感謝をこめて深々と頭を下げた。学生たちは何事も無かったように、次の授業に向かっていった。担当教授の「みんなでチームを作り団結すれば、何か出来る、気づきを知るんだ」という教育指針の一環を身をもって体感させて頂いた思いである。環境学習の中に吹いた一陣の涼風を感じた幸いです。尚、学生たちは3月の神奈川県環境活動報告会で、ポスターセッションに参加することを報告しておきます。



大雨の二ヵ月後でも濁っていた酒匂川上流、河内川(左)、流れてきた大岩(中)、根こそぎ流れてきた大木(右)

県西地区懇談会開催のお知らせ

地域活動サポート部 吉田 榮一

日時：平成23年2月8日(火) 15:00~17:00
場所：おだわら市民活動サポートセンター(小田原市民会館4階、小田原駅から徒歩約10分)
対象：県西地区会員とその他の全地区の会員(全会員が対象)
内容：県西地域での活動状況(会員以外の方の活動を含む) 当会の活動、地域活動推進・ネットワークなどについて意見交換など。
懇談会の後、懇親会の開催を予定しています。
会員の皆様、特に県西地区会員の参加をお待ちしています。

同日に「小田原城の歴史と自然観察会」を下記のように開催しますので、こちらの方も合せてご参加ください。
小田原城の歴史と自然観察会(自然環境部会と共催)
対象：自然環境部会員を含む全会員
日時：平成23年2月8日(火) 12:00~13:30
場所：小田原城と小田原城址公園
集合：JR小田原駅 2階 改札口 12時(昼食を済ませて集合ください)
参加費：小田原城天守閣入場料400円、資料代100円

水生昆虫の世界

野崎 隆夫（二宮町在住）

あけましておめでとうございます。環境科学センター在職中には、たいへんお世話になりました。昨年12月26日、自然環境部会で表題のお話しをさせていただく機会がありましたので、その内容を簡単に紹介させていただきます。

水の汚れを知るための道具

水生昆虫といいますと、環境学習に関わる多くの会員の方は、「水の汚れを知るための道具」としてご存じだと思います。私自身も水質評価の業務で水生昆虫に出会い、講習会などでその有用性を伝えてきました。しかし、水生昆虫の世界を知るほどに、それだけではもの足りない気持ちが大きくなりました。子どもたち相手の教室で多くの子どもが、「大きいの

を見つけた！変なのがいいた！」と夢中になって川の生きものを捕らえてきます。集めた生きものを前に、「この虫がいるからこの川はきれいなんだよ」などと教えられ、「そうなんだ！」と理解もしてくれます。でも、単に「川がきれい/きたない」で終わってしまうこと

に寂しさも感じます。目を輝かせて捕った虫が、どこに住み、何を食べ、どんな生活をしているのか知ったら、水質だけでなくもっと色々な環境に目が向くのではないかと思います。

環境の変化を教えてくれる生物

陸上の自然観察会では、虫や植物に詳しい人が先生になり、正確な名前を教えてください。そして、それを見分けるための細かな特徴とともに、生息場所や生活についても教えてください。それゆえに生きものとして興味を持って、それらが生きるために必要な環境にまで思いが至ります。

今、身近な水環境を取り巻く問題は、水質汚濁だけでなく、気候変動や外来種など実にさまざまです。水生昆虫も単なる水質判定の道具としてではなく、生きものとして興味を持って観察すれば、より多くの環境変化について教えてくれるかもしれません。いや、すぐに教えてくれなくても、役に立たなくても、まずは楽しみながら観察する人がもっと増えても良いのではないのでしょうか。昆虫愛好家が、環境

調査としてではなくただ好きな虫を調べていて、温暖化などの環境の異変に気づく例もあるのです。

前置きが長くなりましたが、当日はそんな思いで、水生昆虫の定義から始め、分類の現状、呼吸を通じた有機汚濁との関係（生物指標の原理）、食物連鎖、陸上での生態と環境との関わりなどについて話しました。限られた紙面ですので、ここではそのうちの食物連鎖についてのお話しのみ紹介します。

生食連鎖と腐食連鎖

食物連鎖といえば、草原に生える草（生産者）を草食動物（一次消費者）が食べ、それをまた上位の捕食者（二次消費者）が食べるという生食連鎖が馴染み深いと思います。でも地球上にはこんな単純な

生態系はあまりありません。例えば樹冠が川面を覆う山地溪流では、光が当たらず植物である藻が少ないのにたくさんの虫も魚もいます。それを支えているのは陸上から落ちてくる落葉などで、このような動植物の遺骸を食べて出来る食物連鎖を腐食連鎖と呼びます。腐食連鎖

という、生食連鎖でできた死骸や糞を掃除し土に還すための分解過程と思われるかもしれません。しかし、これは単なる分解ではなく、その過程で生まれる生きものがほかの生きものに食べられる連鎖を次々と作ります。つまり、溪流では腐食連鎖が卓越していて、それゆえに生きた植物が少なくても豊かな生態系を形成しているといえるのです。さらに、陸上から供給された資源で育った水生昆虫は、水中の生態系を豊かにするだけでなく、自らの体である有機物を羽化という形で陸上に還し、クモや鳥やコウモリに食べられ陸上の生態系を支えます。陸から水へ、そしてまた陸へ、こんな生態系を思い浮かべると、水質判定だけにとどまることももったいないと思えるのです。



★ 新入会員紹介 ★

緑と自然が好きです

高橋 伸治 (横浜市)

平成 21 年度の「環境ボランティア養成講座」を受講し、昨年入会し自然環境部会に入った高橋伸治です。

どの部会に入るか迷いましたが、昔から緑と自然が好きなので自然観察会のある当部会に入りました。

部会の行事に 10 月 3 日の新治市民の森 (自然観察会) 12 月 26 日の部員の活動報告会 (モンシロチョウ、あやせ環境学習会) 野崎隆夫博士の特別講演「水生昆虫の世界」を聴講しました。

質疑を聞いていて、とてもレベルの高い会だと思いました。ついていけるか心配です。

横浜生まれの横浜育ちで、現在は横浜市西区に住んでいます。小さい頃は保土ヶ谷区に住んでいて家の裏に小さな雑木林があり、学校から帰るとよく遊びに行ったものです。

数年前より、かながわトラストみどり財団の会員になりました。その会員向けのイベントで自然観察会に数回参加しております。

エコ活動としては EM 菌を使った生ゴミの堆肥化やゴーヤをベランダに植えたり、講座受講後はコンセントはこまめに抜くことで待機電力の削減に努めています。

先輩諸兄のご指導よろしくお願いします。

自然環境を維持していく活動を目指したい

永井 康男 (横浜市)

環境ボランティア養成講座「地球温暖化と生物多様性」に参加し、今まで見過ごしてきたこの分野の問題がかなり深刻化していることを知りました。そのような中で、まだ残っている自然について自分なりの発見を求め、自然環境を維持していく活動を目指したいと思い、自然環境部会に入会しました。

今年参加した 2 ~ 3 の活動の中で記憶に残る内

容は、「あの山下公園に砂浜があった」「新治市民の森での自然観察で女郎蜘蛛の巣は 3 層構成でなかなか立派、その雄は雌に比べ非常に小さい」等です。

これからもじっくり、自分の目で観察・納得して自然環境保護の重要性を理解し、活動をして行きたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

小学生に説明する楽しさと魅力

下畑 隆司 (横浜市)

定年後 2 年経ちましたが、仲間作りが出来て、楽しくボランティア活動出来る団体はないか探していたところ、K・リーダー会主催の環境ボランティア養成講座を知り、昨年 5 ~ 6 月に受講しました。

講座終了後、エネルギー部会の月例会議に参加した結果、会員の皆様が生き生きと楽しく活動されており、しかも会議後に毎回行う飲み会でコミュニケーションを楽しんでおられたのが好印象でした。その場で、是非、仲間に入れて貰おうと決断しました。

8 月に入会後、小学校への地球温暖化防止の出前授業やこども宇宙科学館での自然環境教室で活動

する経験をさせて頂きました。小学生に環境保全や省エネをどのように説明すればよいか迷いましたが、諸先輩方の良きアドバイスを頂きながら、見よう見まねで実践しているところです。まだ全ての省エネ実験やその他のプログラムについて説明出来るところまでは至っていませんが、小学生に説明する楽しさを感じているところです。また、元気な小学生から活力が貰えるのも魅力です。今後とも皆さんとの会話を楽しみながらボランティア活動に注力し、更に広範囲な活動出来るように頑張りたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

相模原だより

はじめての「紙管クラフト展」が開催されます！

相模原市 荒谷 輝正

当会第1期の古沢正文さんが主宰されているリ・ウッドクラブで、この度、紙管クラフト展を開催します。平成4年から神奈川県相模原市中央区淵野辺1-20-8日本化工機材株式会社内の工房で、特に近所の主婦を中心にクラフト指導をされていますが、今回、展示ルームのオーナーのご厚意により展示会を開催致します。『紙は進化した木材』をテーマに、今迄に製作してきた作品を展示いたします。多くの方の御来場をお待ちしています。



予定出品作品の例

日時：2011年2月9日（水）～2月13日（日）
午前11時～午後5時（最終日は午後4時で終了）
会場：ギャラリー スペース遊
相模原市中央区千代田2-2-15メイプルビル2階
電話：042-856-1990

本件は、かねてから、紙管に興味を持って居られたオーナーから、是非開催して欲しいとの言葉を頂き、初めての開催となりました。現在、展示に向かって作品作りをしていますので、関心のある方は是非、御観覧ください。この件の連絡先は、荒谷輝正まで。
電話・FAX：042-754-3256
E-mail：teruaratani@jcom.home.ne.jp

部会活動

ケナフ部会

部会長 荒谷 輝正

活動予定（2月下旬～4月）

- ・2月27日 相模原市立環境情報センター 「牛乳パックでハガキを作ろう」
- ・2月9日～2月13日まで紙管クラフト展覧会を、相模原市ギャラリースペース遊（相模原市千代田2-2-15メイプルビル2F）で開催

定例部会開催予定（日時未定）

- ・原則、毎月実施予定
 - 2月次年度の予定スケジュールを決定。
 - 3月畑起こしを実施
 - 3月迄に環境科学センタに圃場の利用願い提出

活動報告（11月～23年1月）

- ・10月31日 第24回ふるさとのば「福祉の集い」で「牛乳パックを利用した紙漉きを実施」110名が体験した。担当 小川。



刈り取ったケナフからパルプを作る部員

例年なら11月開催であるが、横浜でAPEC開催の為、この日開催となった。

- ・11月13日 相模原市弥栄小学校第4回カルチャースクールで「段ボールを使用した絵葉書立て」作りを実施。高学年を対象にした16教室の一つ6名参加（予定は8）。担当 荒谷
- ・12月4日平塚リサイクルセンター「クルリン祭り」でケナフを使った紙漉きを実施。約50名体験。担当 小川、高尾、石切山、荒谷

定例会開催報告

- ・11月24日 圃場の整理及びケナフパルプ作成
- ・12月は雨天の為中止

エネルギー部会 部会長 桑原 清

活動予定 (1月下旬~4月)

定例部会 (県民サポートセンター16~18時)

2月9日 702 会議室、3月9日 709 会議室、

4月13日 710 会議室

活動報告 (11月~1月)

- ・11月13日 (土) サイエンスクラブ工作教室、
はまぎんこども宇宙科学館

環境自然教室「ソーラーオルゴールを作ろう」が開催され、NPO 法人アース・エコの協力を得て、エネルギー部会のメンバーを中心に9名が実施に参加した。小学生4年生から中学2年生まで22名が集まり、地球温暖化と私たちの暮らしについて学んだり、省エネ実験や違い探しゲームで自分たちができる省エネを学んだりした。ソーラーオルゴールの工作では、ドライバーを使って組み立て、ケースにシールやカラフルなテープを貼ってそれぞれ好みのデザインに仕上げた。



定例部会 (県民サポートセンター16~18時)

- ・11月10日 703 会議室 イベント、出前授業の参加者調整。勉強会：エネルギー利用の形、他。
- ・12月8日 709 会議室 完了したイベントの報告、研究テーマの検討。勉強会：50/50 実施状況、他。
- ・1月12日 709 会議室 研究テーマ「部屋の断熱」調査方法の検討。勉強会：冷蔵庫の消費電力、他。

大気環境部会 部会長 猪股 満智子

活動予定

- ・3月5日 (土) 12時~17時 かながわ県民センター ホール

第17回市民環境活動報告会ポスターセッションで「かながわの空~NO₂測定、SPM、指標生物から見てみよう~」と題し、H22年度の調査活動を発表。

- ・3月22日 (火) 13:30~16:30 定例部会 NPOセンター大船

平成23年度部会計画立案と、デジタルミリオン版地図入力講習。ノートパソコンお手持ちの方はご持参ください。

活動報告

『光化学オキシダント濃度の上昇に注目!』

11月5日 13時~16時 平塚プレジール

県環境科学センター業績発表会 大気関係4題発表ということから7名参加。'02年頃からの窒素酸化物NO_xや揮発性有機化合物VOC濃度の低減にも関わらず、光化学スモッグの指標である光化学オキシダントO_x濃度の上昇が注目されている。人の生活する高度付近のO_xよりも上空ほど濃度が高くなり、NO_xは低くなっている。丹沢山系のブナ林の葉枯れも酸性雨ではなくO_xの上昇が一

因とのこと。こういった原因として市街地付近での自動車排ガス濃度低減によるオゾンO₃の分解が減ったためと、ヒートアイランドの影響(高温の大気により、風が充満、せき止められたような状況になる)等により相模湾海風が弱まったためと考察されている。地球温暖化の影響の見えないところが見えてきた一例であろうか。

11月20日 13:30~ 部会とNO₂測定準備 NPOセンター大船

従来のエコアナライザー方式の測定分に加え、新たに新エコチェッカー方式60地点分を同時測定のためのろ紙充填

12月2日 夕方~3日 夕方 NO₂の24時間測定

12月11日 13:00~16:30 NO₂測定、2機種による比較分析 KERC 実習室

10年間利用してきたエコアナライザーの暫時切り替えとして、新エコチェッカー方式(分光光度計を忠実に再現させたミニデジタル機器)との分析実施。今回はじめて、新方式での分析を試みたが、分析薬の相違や、比色セルに入れ替える際の攪拌混合、その後の反応薬の共洗いと洗浄、などまるで60の手習いといったところ。今後の経験積み上げが大切だと実感した。

水環境部会

部会長 齋藤 昭一

皆さん、今年も宜しくお願いします。

今年は「鮎沢川」に入ります。「ナミウズムシ」の調査を継続します。昨年12月に他県の水産試験場の人により、日本に見受けられない「エビ」が見つけたとの報告が入りました。現在琵琶湖の試験場で精査調査研究中です。その結果次第ですが、酒

匂川本流に戻る計画もあります。計画変更の時は連絡いたします。

ともかく4月24日(日)を第一回の活動日と予定しててください。尚、車両等の準備もありますので、今年から出欠の有無を事前に連絡して下さい、お願いします。

グリーン部会

部会長 柳川 三郎

活動予定

2月27日(日)相模原市環境情報センターから依頼の出前講座、テーマ「エコな誕生日パーティーへの買い物の仕方」

活動報告

平成22年11月13日 神奈川科学アカデミーからの依頼で出前講座を開催。テーマ「大豆の良さの教えと大豆モヤシづくり工作」伊勢原市成瀬小学校 3年生90名と保護者

平成22年12月11日に受理した夏休みにおける平塚市コースボランティアの振り返り作文を見て、

中学生が暑い夏に身をもって体験した頑張りを知る。

平成22年12月16日 県立大原高校へボランティアガイダンス。2年生40名に対し一生懸命ボランティアの取り組みの重要性を説いたが、生徒の反応は鈍かった。しかし生徒からの受講後のレポートを読んで無償の頑張りのボランティアに共鳴してくれて参加したいとの事を知り、ビックリでした。

1月14日(金)みずほ小学校へ出前授業、4年生、37名 テーマ「エコな買い物の仕方を学ぼう」

自然環境部会

部会長代行 吉田 榮一

活動予定

2月8日(火)12:00~13:30 小田原城の歴史と小田原城址公園の自然観察会。地域活動サポート部との共催。集合:JR小田原駅 2階 改札口に、昼食を済ませて12時集合。

自然環境部会員を含む全会員の皆様、特に県西地区会員の参加をお待ちしています。

参加費:小田原城天守閣入場料 400円 + 資料代 100円

その他:同日15:00~17:00 地域活動サポート

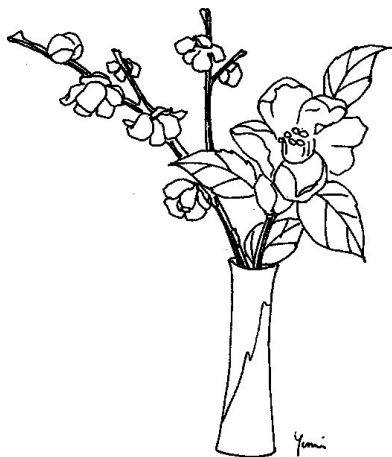
部主催 県西地区懇談会開催(詳細本紙2ページ参照)

5月の(土)か(日)活動報告会開催予定
活動報告

12月26日 14:15~17:00 部会・報告会・特別講演会 かながわ県民センター604号室

16:00~17:00 特別講演会 講師 野崎隆夫氏
演題「水生昆虫の世界」

報告会・特別講演会については当会ホームページ、特別講演の内容は本紙3ページ参照



事務局だより

事務局 桑原 清

理事会開催予定

2月8日(火) 13:30~15:00 おだわら市民活動サポートセンター

かながわ県民センター会議室、14:00~16:00

3月10日(木) 708 会議室、4月14日(木) 708 会議室

理事会報告

かながわ県民センター会議室、14:00~16:00

11月11日 地域サポート部、助成金、市民環境活動報告会等について協議

12月9日 地域サポート部、市民環境活動報告会、次回コミカレ等について協議

1月13日 県西地区懇談会、助成金・寄附金、次回コミカレ講座等について協議

平成23年度 理事・運営委員募集のお知らせ

平成23年度の当会の活動に、理事または運営委員としてご参加いただける方を募集します。業務内容は、会計、事務局、会報発行・ホームページ等の広報、地域活動サポート、等の活動です。詳しくは事務局・桑原までお問い合わせください。

Eメール: npo.k.leader@gmail.com

「エコポイント環境寄付について」

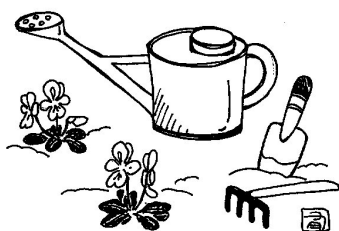
会計 田口繁雄

会報71号及び72号で報告しました「グリーン家電エコポイント」「住宅エコポイント」の当会への寄付金が1月時点で15万円以上見込んでいます。

これはひとえに皆様方の暖かいご支援の賜物として感謝しております。現在エコポイント制度は、縮小しましたが、3月末まで継続しておりますので、ぜひ今後とも協力お願い申し上げます。

尚、今年度の最終寄付金額については、総会での決算発表時や会報で報告いたします。

また、寄付金の使途に関しては、有効に活用するよう理事会で検討します。



参加協力をお願いします!

(いきものみっけ連携)

気候変動を見守ろう

身近な生物を指標に初確認日をご報告願います。

キーワードは「いつ、どこで、初見、初聞き」

冬~春の対象: ロウバイの花、マンサクの花、カントウタンポポの花、シロバナタンポポの花、ホトケノザの花、ソメイヨシノの花、ツクシ、ヒキガエルの卵、ウグイスのさえずり、ツバメの飛来・子育て、モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、ベニシジミ

遠出をする必要はありません。自宅周辺、外出の際などに、ほんのちょっと注意をはらうと、毎年の気候変化が手に取るよう。1種でも結構です。見つけたもの、聞いたものと簡単な地名をご報告願います。県版データ化しています。

送り先: 大気環境部会 猪股 Tel/Fax 0467-32-6858

Eメール: km_inmt@ybb.ne.jp

(環境省主催いきものみっけシートの当会への重複送付も大歓迎! ただし当会は神奈川県版を作成しています。環境省いきものみっけのホームページは、<http://www.mikke.go.jp/> をご覧ください。)

カントウタンポポが12月5日横浜久良岐公園で咲き始めました。

3月5日(土)12時~、16:30~県民センターホールにて平成22年版をポスターセッションで発表予定。

特定非営利活動法人

神奈川県環境学習リーダー会 会報 第73号

発行日: 2011年1月24日

発行者: 代表理事 齋藤昭一

編集人: 田口繁雄広報部長代行、長村吉洋広報部

〒231-0013 横浜市中区住吉町2-26

洋服会館3階 よこはま市民共同オフィス内

FAX: 050-3488-4943

E-MAIL: npo.k.leader@gmail.com

URL: <http://npo-k-leader.net/>

寄付、会費等納入口座: ゆうちょ銀行

00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会

不許複製 © 神奈川県環境学習リーダー会

2011 Printed in Japan